

## **第28回統一パレード・集会宣言**

高速横浜環状南線素案の発表から28年、都市計画決定から20年が経ちました。この間、白紙撤回を含む抜本の見直しを求め沿線住民は運動を続けてきました。私たちは沿線住民と共に行政に対し裁判や行政不服審査請求申請等あらゆる手段で道路計画の抜本の見直しを訴えてきました。しかし住民側にとっては必ずしも納得のいく結果を出すことが出来なかったのも事実です。そして行政は最終的に力づくともいえる強制収用という手段に出てきました。すべての公共事業がそうであるように一度決めた計画は何年経とうが絶対止めないという行政の横暴ともいえる態度は絶対許せません。この事業を実施するに当たっては事業評価監視委員会から「地域住民との十分な理解を得ること」との付帯条件が付けられています。

しかしながら横環南沿線住民の今なおある疑問や不安等納得できない問題が山積みの状態にあるにも拘らず本格的な工事が全線ではじまっています。私たちは多くの問題を解決するために国交省・NEXCO東日本・横浜市と質問集会等で交渉を重ねてきており、今後も継続していくことを沿線住民の間で確認し一致しています。

これからは道路建設に伴い事業者には排ガス脱硝装置やPM2.5除去装置の設置及び地域の地盤沈下対策、騒音対策等の抜本的环境対策に万全を来たすよう提案、要求を突き付けていく闘いとなります。

私たちは、当初掲げた「白紙撤回を含む抜本の見直し」のスローガンはその精神を忘れることなく引き継ぎながら、これからは現実に目を向け沿線住民とともに環境対策の要求を勝ち取るべく戦い続けていきます。今後はそこから起因している工事の不当性を攻め続け、現実に苦しんでいる、また苦しむことになるであろう私たち住民ひいては子孫のための具体性のある運動を展開していきましょう。

子どもたちの未来のために！高らかに宣言します。

2016年11月23日

横浜環状道路(圏央道)対策連絡協議会(連協)  
庄戸四町会合同道路委員会  
新設道路建設反対委員会  
原宿の生活環境を守る会